

テレジンの子どもたちの絵が 語るもの



テレジンという地名を知っていますか？この地名をご存じなくても、アウシュヴィッツという地名を聞いたことはあるかもしれません。第二次世界大戦当時のユダヤ人収容所の一つです。そこに収容された子どもたちが描いた絵の数々が残っているそうです。その絵を見て学びながら、私たちが今何を感じるか、皆様と同じひとときを過ごせたらと思い企画しました。是非一緒に、耳と目を向けていきませんか？



日時：2022年8月14日(日) 13:00~14:30

場所：日本キリスト教団川崎教会 礼拝堂

講師：野村路子氏(テレジンを語りつぐ会代表)

参加費：無料(活動に共感して下さる方のカンパは受け付けます)

*作品展示期間：8月14日(日)~19日(金)

13:00~16:00



*新型コロナウイルス感染症対策の為、検温と消毒、小学生以上のマスク着用のご協力をお願いいたします。また、換気を行いますので、冷房が効きにくいことも予想されます。ご了承下さい。

主催：日本キリスト教団川崎教会・教会学校

(044)211-2335

共催：学校法人川崎キリスト教学園川崎頌和幼稚園

画像提供：野村路子